平成20年度 国際交流一覧

1 海外からの来学研究者 平成20年4月~21年3月

. 17-7 7 1 10	ツネナッルカ		一次20千7万	····ZI T U刀
氏名	所属・職・国名	期間	受入者	目的・講演題目など
Sreekumaran Nair	日本学術振興会外国人 特別研究員 ・インド	H18.11.20- H20.11.19	木村啓作	ナノ粒子超格子の電気的・ 電子的・輸送現象特性
Mary Beilby	Department of Physics, The University of New South Wales. 教授 オーストラリア	H.19.6.12-13	新免輝男	研究連絡
Tatiana Yankova	Moscow State University ・大学院生・ロシア	H.20.3.12- 4.28	中辻慎一	多重機能性有機物質の開発 に関する共同研究
Seo, N. S.他 3 名	Ewha Womans Univ., Assistant Prof., Korea	H20. 4.21 - 25	小倉尚志	共鳴ラマンスペクトルの測 定
Andre Martinez	ボローニャ大学・教 授・イタリア	H20.6.1-6.15	藤家雪朗	共同研究・講演「Shape resonances in the semiclassical limit」
Vania Sordoni	ボローニャ大学・准教 授・イタリア	H20.6.1-6.15	藤家雪朗	講演「Scattering for diatomic molecules」
Kazuhiro Nitta	Institut de Biologie du Development de Marseille・研究員・フ ランス	H20.6.5-6.6	日下部岳広	Digital representation of embryonic development: the NISEED system and its application to ascidians
Delphine Dauga	Institut de Biologie du Development de Marseille・研究員・フ ランス	H20.6.13- 6.14	日下部岳広	Digital representation of embryonic development: the NISEED system and its application to ascidians
Benjamin J. Steventon	University College London・大学院生・イ ギリス	H20.6.17- 8.21	日下部岳広	平成20年度JSPSサマープログラムによる共同研究
El-Mashtoly, S.	Ewha Womans Univ., Assistant Prof., Korea	H20. 7. 25 - 9. 12	小倉尚志	共鳴ラマンスペクトルの測 定および講演「Resonance Raman Spectroscopy of Heme-Oxygen Sensor Proteins」
Lee Martin	Nottingham Trent University·講師·英国	H.20.8.17- 19, 8.25-29, 12.14-17	中辻慎一	多重機能性有機物質の開発 に関する共同研究
Cho, J. 他 3 名	Ewha Womans Univ., Assistant Prof., Korea	H20. 8. 18- 22	小倉尚志	共鳴ラマンスペクトルの測 定
Kim Jae- Whune	マイクロプランツ社・ 研究所長・韓国	H.20.8.30	山内大輔	共同研究のため

氏名	所属・職・国名	期間	受入者	目的・講演題目など
Cho, J. 他3名	Ewha Womans Univ., Assistant Prof., Korea	H20. 9. 29 - 10. 3	小倉尚志	共鳴ラマンスペクトルの測 定
Walter Kisiel	University of New Mexico・教授・アメリカ	H20.10.17- 26	小出武比古	共同研究•講演「Structure, Function and Biology of Tissue Factor Pathway Inhibitor-2 (TFPI-2)」
Peter Day	Royal Institution of Great Britain·教授·英国	H.21.1.5	中辻慎一	4th UK-Japan Joint Seminar にて講演
Cho, J. 他3名	Ewha Womans Univ., Assistant Prof., Korea	H21. 1. 12- 17	小倉尚志	共鳴ラマンスペクトルの測 定
Boris Paneah	Israel Institute of Technology•名誉教授・ イスラエル	H21.2.1 -24	楳田登美男	講演「Local and nonlocal problems for strongly hyperbolic differential operators in bounded domains」
Bert-Wofgang Schulze	University of Potsdom・ 教授・ドイツ	H21.2.15-21	楳田登美男	講演「The iterative calculus of operators on manifolds with singularities」
Ingo Witt	University of Goettingen・教授・ドイ ツ	H21.2.18-21	楳田登美男	講演「Formation of singularities near Morse points」
Der-Chen Chang,	Georgetown University・ 教授・アメリカ	H21.2.18-23	楳田登美男	講演「Geometric analysis on d-bar Neumann problem on decoupled domain」
Tobias I. Baskin	Biology Department, University of Massachusetts・教授・ 米国	H21.3.18-19	峰雪芳宣	研究打合せ
Cho, J. 他3名	Ewha Womans Univ., Assistant Prof., Korea	H21. 3. 29 - 4. 4	小倉尚志	共鳴ラマンスペクトルの測 定

2 海外研修

(1) 物質理学研究科

平成20年4月~21年3月

	mill - 1	I.m	一次20十十万・21十		tte
	職·氏名	部門	研修内容	研 修 先	期間
1	教授	物質反応解析 学部門	第6回アジア電気化学コンファレンスに 出席	台湾	H20.5.10
	水谷文雄				∼5. 15
2	助教	物質構造制御 学部門	第15回有機ケイ素化学に関する国際会	大韓民国	H20.6.1
	佐藤井一		議に出席及び発表	人異氏国	\sim 6.6
3	准教授	物質基礎解析	「アファイン幾何、数論、特異点」研究集会	スペイン	H20.6.15.
3	増田佳代	学部門	に出席及び発表	X-47	~6.22
4	助教	物質機能解析	モスクワ磁性国際シンポジウムに出席及	ロシア	H20.6.19
4	小山岳秀	学部門	び発表		\sim 6.26
	准教授	物質機能解析	2008磁性物理の欧州会議に出席及び	ポーランド	H20.6.22
5	水戸 毅	学部門	発表		\sim 6.30
	教授	物質基礎解析	スペクトル散乱理論に関する国際会議 に出席及び発表		H20.7.4
6	楳田登美男	学部門		フランス	\sim 7.13
			Peter Day教授70歳誕生日記念会議に		
7	助教	物質構造制御	出席及び発表、ウォーリック大学、ノッチンカーム	連合王国	H20.7.8
'	圷 広樹	学部門	タレント人子、ケープム人子(共同研先打	建 日上图	\sim 7.18
			合せ		
8	教授	物質反応解析	第12回化学センサ国際会議に出席及	アメリカ合衆国	H20.7.12
	水谷文雄	学部門	び発表		~7.18
9	准教授	物質反応解析	第12回化学センサ国際会議に出席及	アメリカ合衆国	H20.7.13
	安川智之	学部門	び発表		∼ 7.18
10	教授	物質反応解析	国際触媒会議及びコンビケム国際会議	大韓民国	H20.7.13
10	杉村高志	学部門	に出席及び発表	八种以国	∼ 7.23
	教授	物質構造制御 学部門	機能性パイ電子系に関する国際学会に 出席及び発表、ヤシエ科大学で共同研 究打合せ		H20.7.15
11	H-21 1/E				7.05
	中辻愼一	7 1011 4		ルーマニア	\sim 7.25
12	准教授	物質構造制御	機能性パイ電子系に関する国際学会に	オーストリア	H20.7.19
	山田順一	学部門	出席及び発表	A ハワノ	~7.27
13	助教	物質機能解析	第9回X線顕微鏡国際会議に出席及び 発表	スイス	H20.7.19
10	高野秀和	学部門			~7.27
14	教授	物質機能解析	第9回X線顕微鏡国際会議に出席及び 発表	スイス	H20.7.19
14	篭島 靖	学部門			\sim 7.27
	教授	物質機能解析	第25回低温国際会議に出席及び発	フランス ドイ	H20.8.3
15		物質機能解析 学部門	表、パリ南大学、ハンブルグ大学で共同研究な人	ツオラン	
	小原孝夫	· · · ·	究打合せ	ダ	~8.13
16	助教	物質機能解析	第25回低温物理国際会議に出席及び	オランダ	H20.8.5
	本山 岳	学部門	発表		~8.15
17	准教授	物質基礎解析	ボルドー第一大学において準古典解析	フランス	H20.8.25
11	藤家雪朗	学部門	に関する共同研究	. / • / •	∼11.25
18	教授	物質基礎解析	「偏微分方程式とスペクトル理論」研究	18 203	H20.8.30
	棋田登美男	学部門	集会に出席及び講演、ミュンヘン大学 において共同研究打合せ	ドイツ	~9.14
19	教授	### FFF + + + + + + + + + + + + + + + +	「偏微分方程式とスペクトル理論」研究 集会に出席及び講演	ドイツ	H20.8.30
	岩崎千里	物質基礎解析 学部門			~9.8
20	教授	物質構造制御 学部門	ナノ オストラバ 2008に出席及び発表	チェコ共和国	H20.8.31
	木村啓作	1.144.1			\sim 9.7

	職・氏名	部門	研修内容	研 修 先	期間
21	助教 松本剛昭	物質反応解析 学部門	ゴードン会議に出席及び発表	フランス	H20.9.6 ∼9.14
22	教授 中辻愼一	物質構造制御 学部門	SPIN2008国際学会に出席、ダルムシュ タット工科大学、デュッセルドルフ大学 訪問	イタリア ドイツ	H20.9.6 ~9.17
23	准教授 八尾浩史	物質構造制御 学部門	単分子保護ナノクラスターに関する国際シンポジウム及びマイクロ・ナノエンジニアリングに関する国際学会に出席及び発表	フィンランド ギリシャ	H20.9.10 ~9.21
24	教授 本間健二	物質反応解析 学部門	原子・分子科学研究所Liu教授と共同 研究打合せ	台湾	H20.9.18 ~9.20
25	助教 満身 稔	物質構造制御 学部門	第11回分子磁性国際会議に出席及び 発表	イタリア	H20.9.20 ∼9.27
26	教授 中辻愼一	物質構造制御 学部門	浙江工業大学訪問及び特別講演	中華人民共和 国	H20.9.29 ∼10.1
27	准教授 山田順一	物質構造制御 学部門	浙江工業大学訪問及び特別講演	中華人民共和 国	H20.9.29 ∼10.1
28	准教授 安川智之	物質反応解析 学部門	2008年電気化学日米合同大会に出席及び発表	アメリカ合衆国	H20.10.11 ~10.17
29	准教授	物質構造制御 学部門	第4回高スピン分子と分子磁性体に関する国際会議及び第2回開設化合物と分子性スピンデバイスに関する日露ワーク	ロシア	H20.10.12
30	山田順一 准教授 津坂佳幸	物質機能解析学部門	ショップに出席、ヨッフェ物理工学研究所訪問 第5回日本学術振興会シリコンシンポジウムに出席及び発表	アメリカ合衆国	~10.24 H20.11.10 ~11.16
31	教授 本間健二	物質反応解析 学部門	第8回原子・分子物理に関する国際セミナー(AISAMP8)に出席及び講演	オーストラリア	H20.11.23 ~11.29
32	准教授 増田佳代	物質基礎解析 学部門	カンファレンス「アファイン代数幾何」に 出席及び発表	インド	H20.12.21 ~12.30
33	助教 兼安洋乃	物質基礎解析学部門	スイス連邦工科大学において、ルテニウム酸化物共晶系超伝導についての共 同研究	スイス連邦	H21.2.12 ∼3.31
34	教授 中辻愼一	物質構造制御 学部門	ハノーバー大学及びキール大学と共同 研究打合せ	ドイツ	H21.3.1 ∼3.5
35	教授 楳田登美男	物質基礎解析 学部門	アラバマ大学において共同研究及び講演、バージニア大学において講演	アメリカ合衆国	H21.3.15 ~4.3
36	准教授 山口 明	物質機能解析 学部門	米国物理学会に出席及び発表、ラット ガース大学で研究打合せ	アメリカ合衆国	H21.3.17 ∼3.23
37	教授 本間健二	物質反応解析 学部門	化学反応動力学東アジアワークショップ に出席・討論	台湾	H21.3.17 ∼3.19
38	教授 杉村高志	物質反応解析 学部門	ファインケミカルズ合成触媒国際会議打合せ	大韓民国	H21.3.21 ∼3.23

(2) 生命理学研究科

平成20年4月~21年3月

		1			
	職・氏名	部門	研 修 内 容	研修先	期間
1	教授	生体物質構造	ナンシー大学との共同研究	フランス	H20.4.13
	樋口芳樹	解析学部門	7 0 70 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		\sim 4.17
2	教授	生体物質構造 解析学部門	国際結晶成長学会に出席及び発表、	メキシコ	H20.5.5
2	4 樋口芳樹		共同研究打合せ	アメリカ合衆国	~5.11
3	教授	細胞機能解析 学部門	ゼブラフィッシュの発生と遺伝学に関する第8回国際学会	アメリカ合衆国	H20.6.25
3	八田公平			ノブリル合外国	\sim 7.1
4	教授 小出武比古	生体物質機能 解析学部門	第54回科学と標準化委員会(SSC)年会、第19回国際線溶学会及び第5回セルピン国際シンポジウムに出席及び発表、インペリアル大学、ケンブリッジ大学で共同研究打合せ	オーストリア ベルギー 連合王国	H20.6.27 ~7.17
	744 W. Fox				1100 7 10
5	准教授	生体物質構造 解析学部門	第15回ヨーロッハ°生体エネルキ゛ー論学会に 出席及び発表	アイルランド	H20.7.18
	村本和優				\sim 7.26
	教授	生体物質構造	第15回ヨーロッパ。生体エネルキー論学会に	アイルランド	H20.7.19
6	吉川信也	解析学部門	出席及び発表、ローマ大学、フィレン ツェ大学で共同研究打合せ	イタリア	~7.29
	准教授		 第12回国際グルクロン酸転移酵素(UGT)		H20.7.23
8		生体物質構造 解析学部門	ワークショップに出席及び発表、グルクロン酸	カナダ	
	衣斐義一		転移酵素命名法標準化委員会に出席		\sim 7.31
	教授	生体物質機能	ワシントン大学との血液凝固の制御機 構に関する共同研究	アメリカ合衆国	H20.8.8
8	小出武比古	解析学部門			\sim 8.15
	教授	生体物質機能 解析学部門	第3回日英血小板会議、第5回アジア太 平洋血栓止血学会議に出席及び発表	シンガポール	H20.9.16
9	小出武比古				~9.21
	教授	生体物質構造	第53回イタリア生化学会2008年大会に 出席及び講演	イタリア	H20.9.22
10	吉川信也	解析学部門			\sim 9.29
	准教授	細胞機能解析	第6回国際創薬科学技術会議に出席及び講演	国	H20.10.16
11	菓子野康浩	学部門			\sim 10.20
	助教				H20.10.24
12	_{切裂} 木田祐一郎	生体物質構造 解析学部門	ヨーロッパ分子生物学協会 (EMBO)カ ンファレンスに出席及び発表	フランス	
	本田柏一郎 准教授			,,, –	~10.30
13	作教授 菓子野康浩	細胞機能解析 学部門	第5回アジア太平洋藻類学会議に出席 及び発表	ニュージーラ ンド	H20.11.8 ∼11.15
	東于野原店 教授				\sim 11.15 H20.11.9
14	教授 小倉尚志	生体物質構造 解析学部門	第4回アジア生物無機化学会議に出席 及び講演	大韓民国	
	,				~11.14
15	教授	地球環境科学 部門	アメリカ地球物理学連合2008年秋季 大会に出席及び発表	アメリカ合衆国	H20.12.14
	松井正典	Hull 1			~12.21
16	教授	生体物質機能	アジア・パシフィック電子線トモグラ フィー会議に出席及び発表、シドニー	オーストラリア	H21.1.30
	峰雪芳宣	解析学部門	大学で研究打合せ	ペー・ヘドノソノ	\sim 2.6
17	 教授	生体物質構造	ナンシー大学との共同研究打合せ	フランス	H21.2.28
	樋口芳樹	解析学部門			~ 3.5
	准教授	生体物質機能			H21.3.29
18	八木澤 仁	解析学部門	リサーチョンファレンス	アメリカ合衆国	~4.4
	/ ·/ i i + i -				1.1